

バイオを知る

# くらしとバイオ LETTER

# 8

NPO法人 くらしとバイオプラザ21

2015年4月号



## 活動報告

### サイエンスアゴラ2014シンポジウム「身近になった遺伝子検査～みんなで付き合い方を考える」



2014年11月9日、日本科学未来館において開かれたシンポジウムでは、「消費者直販型遺伝子検査(DTC検査、DTCとはDirect to consumerの略)」をテーマに、東京大学医科学研究所公共政策研究分野 武藤香織さんから話題提供、コープこうべ 伊藤潤子氏、埼玉県立蕨高等学校 菅野治虫氏、個人遺伝情報取扱協議会 堤正好氏、経済産業省生物化学産業課 柳沼宏氏、共同通信社・科学部 佐分利幸恵氏、東京大学医科学研究所 井元清哉氏によるパネルディスカッションを行いました。DTC検査の実態や海外の状況、個人遺伝情報を使う検査との付き合い方など、消費者、教育者、ジャーナリスト、行政、学識者の立場から関連な意見交換が行われました。テレビや新聞で取り上げられることが多いテーマであり、立ち見がでるほど盛況でした。

共催：東京大学医科学研究所公共政策分野・個人遺伝情報取扱協議会  
後援：日本サイエンスコミュニケーション協会・東京テクニカルカレッジ バイオ科

**サイエンスアゴラ**  
サイエンスアゴラ2014 シンポジウム  
**身近になった遺伝子検査**  
みんなで付き合い方を考える

**プログラム**

日時：11月9日(日曜日) 15:30～17:00  
会場：日本科学未来館 7階 会議室2

15:30-15:35 はじめに  
NPO法人 くらしとバイオプラザ21 佐々藤子

15:35-15:50 話題提供  
東京大学医科学研究所 公共政策研究分野 武藤香織さん

15:50-16:20 いろいろな立場から  
消費者の立場 伊藤潤子さん  
教育者の立場 菅野治虫さん  
メディアの立場 佐分利幸恵さん  
行政の立場 柳沼宏さん  
遺伝子検査事業者の立場 堤正好さん  
研究者の立場 井元清哉さん

16:20-17:00 パネルディスカッションと話し合い

参加者全員が登録者です！自分の遺伝情報について、よく知り、わからないことは尋ね、遺伝子検査を利用するときは、納得して選べるように、そして、悲しい思いをする人が決して生まれぬように、私たちがそれぞれにできることを考えましょう。

※DTC(Direct to Consumer)検査：消費者が直接、入手できる遺伝子検査  
共催 くらしとバイオプラザ21・東京大学医科学研究所・個人遺伝情報取扱協議会  
後援 日本サイエンスコミュニケーション協会・東京テクニカルカレッジ バイオ科



### くらしとバイオプラザ21 通常総会 記念講演のお知らせ

期日：2015年5月14日(木) 15:30～16:30 場所：銀座フェニックスプラザ

「消費者市民ってどんな人？～消費者市民社会づくりに向けた消費者の役割・事業者の役割」  
一般社団法人 消費者市民社会をつくる会 理事長(前 消費者庁長官) 阿南 久 氏

#### 阿南氏プロフィール：

1991年からコープとうきょう理事、東京都生活協同組合連合会理事、日本生活協同組合連合会理事、全国労働者共済生活協同組合連合会理事などを歴任。その後、全国消費者団体連絡会事務局を経て、2012年-2014年消費者庁長官。昨年12月より「消費者市民社会をつくる会」を発足し、理事長に就任、現在に至る。

<参加お申し込み／お問い合わせ>  
NPO法人くらしとバイオプラザ21

Tel 03-5651-5810 Fax 03-3669-7810 E-mail bio@life-bio.or.jp

お申込みをお待ちしています  
終了後の茶話会もどうぞ！

## 2014年10月4日 第9回「私たちのDNA」

東京テクニカルカレッジ 大藤道衛先生からの説明をいただいた後、個人遺伝情報についての説明と同意書の作成を行うところから実験がスタートしました。実験後は認定遺伝カウンセラー(米国、日本)胎児クリニック東京 医療情報・遺伝カウンセリング室 田村智英子さんからは「遺伝子検査で体質や病気のなりやすさ、あるいはご先祖様もわかる?」を、大藤道衛先生からは「ゲノムの話~ゲノムですべてが決まるのか?」を、それぞれ講義をいただきました。今回参加者の3分の2を女性が占め、生物系の関係者が最も少ない教室となりましたが、参加者からは「超新星爆発からの生命の流れを感じた。まさに我々は星の子だと思った」、「親からもらったものの意味を感じた」などといった感想が寄せられ、実り多き実験教室となりました。



## 2014年11月15日 秋の植物園・つくば宇宙開発センターを訪ねるバスの旅



国立科学博物館筑波実験植物園と筑波宇宙センター(JAXA)を訪ねました。タンポポ工房代表 保谷彰彦さんから「身近な草花の魅力」というタイトルでお話をうかがった後、国立科学博物館筑波実験植物園で世界初の青いキクなどを見学しました。また、宇宙研究開発機構筑波宇宙センターではロケット発射音響体験をしたり国際宇宙ステーションの中の日本実験棟「きぼう」と同じ大きさの実験船体内に入り、無重力空間でどのように研究が行われているかをうかがいました。参加者は6歳から89歳までと、幅広い年齢層で楽しめた見学会となりました。

## 2015年1月13日 コンシューマーズカフェ「NBTをどうとらえるか」

くすりの適正使用協議会会議室において、農林水産省農林水産技術会議事務局 鈴木富男室長をお招きした第14回コンシューマーズカフェでは、新しい育種技術(New Plant Breeding Techniques NBT)とは何か、日本のNBTに対する取り組み、その背景にある遺伝子組換え作物・食品の現状についてお話をうかがいました。育種の歴史の科学的視点からの説明の必要性や、マスコミへの情報発信、産業界におけるサイエンスコミュニケーションの充実、そして国際的な規制調和のためのアメリカ、豪州との協調の必要性などを確認しました。



## 2015年2月1日、15日 トマトバイオカフェ



2012年から取り組んできた新しい育種技術(NBT)に関する情報発信として、育種について一から学ぶトマトバイオカフェを神奈川工科大学 エクステンションセンターで行いました。ナス科のトマトは毒をもつ野生種から多様な品種へと改良された作物だからです。1日はカゴメ株式会社 研究開発本部 砂堀諭課長による「トマトのカ~トマトがもたらす健康への効果」、15日は玉川大学農学部生物資源学科 田淵俊人教授による「トマトの魅力~野生種から今日のトマトまで」のお話をいただきました。

## バイオカフェのこの頃



2014年10月10日くらしとバイオプラザ21事務所  
東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科  
診療科長 鯉淵智彦氏  
「海外渡航時に必要な感染症の知識」



11月1日千葉県立現代産業科学館  
キックマン(株)研究開発本部  
環境・安全分析センター長 半谷吉識氏  
「醤油のサイエンス」



11月28日東京テクニカルカレッジ  
株式会社日立製作所 フェロー 神原秀記氏  
「研究開発から学んだ事ー  
質量分析計用イオン化技術、DNAシーケンサーなど」



11月20日茅場町サン茶房  
サントリーグローバルイノベーションセンター(株)  
水科学研究所所長 芦川 俊彦氏  
「水と人との歴史」



2015年2月6日東京テクニカルカレッジ  
日本モンサント株式会社  
代表取締役社長 山根精一郎氏  
「世界の遺伝子組換え作物開発最前線」



2月27日三鷹ネットワーク大学  
株式会社カネカQOL事業部  
機能性食品グループ 細江和典氏  
「アンチエイジングサイエンスー  
コエンザイムQ10の魅力と応用」

### バイオカフェ開催予定のお知らせ

お誘い合わせのうえ、お気軽においで下さい。

音楽演奏、手づくりケーキでお待ちしています。会場により事前申込みの有無、参加費が異なります。

詳細はホームページ <http://www.life-bio.or.jp/biocafe/>をご覧ください。

● 4月9日(木)19:00～ 三鷹ネットワーク大学 参加費 800円

「土のサイエンスのエトセトラ」 香雪社フードウォッチジャパン編集長 齋藤訓之さん

● 4月10日(金)17:45～茅場町サン茶房 参加費500円

「知っておきたい熟成肉の豆知識」(株)東京食肉安全検査センター センター長 中島和英さん

● 5月15日(金)18:00～ TTC(東京テクニカルカレッジ)バイオカフェ 参加費無料

「世界の医療にも貢献する植物での物質生産」

農業生物資源研究所 機能性作物研究開発ユニット長、小沢憲二郎さん



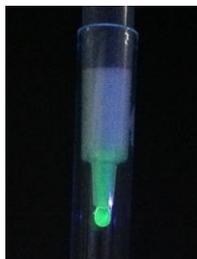
**「バイオカードゲーム(BCG)」、「知っておきたいこと～農業」改訂版ができました！**



筑波大学遺伝子実験センター形質転換植物デザイン研究拠点との共同研究で、バイオカードゲーム(BCG)と「知っておきたいこと～農業」改訂版ができました。BCGは遺伝子組換え食品に関する情報提供とゲーム参加者が共に考え、話し合うことを目的に作られています。「知っておきたいこと～農業」改訂版では、見直しが決まった急性参照用量(ARFD)のコラムを加えました。ゲームの手引書とカードをセットにして、先着30組お分けします。①カードゲーム、②冊子をご希望の方は、①、②それぞれ、82円切手4枚を同封のうえ、送り先を明記してくらしとバイオプラザ21まで郵便でお申し込みください。②を2冊以上ご希望の際はご相談ください。

**2014年10月19日、12月20日 おやこバイオ実験教室開催**

2014年10月19日、岩沼公民館ではいろいろな食材からDNAを取り出す実験を、12月20日、科学技術館では遺伝子組換えカイコのつくる光るまゆのタンパク質を使った実験を、子どもゆめ基金の助成を得て行いました。まゆ糸から溶け出した光るタンパク質を用いる実験は、日本で初めてのプログラムでした。



**講師派遣報告 2014年9月～2015年2月** ( )は参加者数

- 2014年9月26日 渋谷ライオンズクラブ ゲストスピーカー「人の暮らしとバイオとの関係とは？」(30名)
- 10月20日 日本サイエンスコミュニケーション協会 公開講座「リスクコミュニケーション入門」(15名)
- 12月2日 科学技術ジャーナリスト(JASTJ)塾 食品や遺伝子組換えのリスクコミュニケーション (25名)
- 12月8日、15日、22日 東京農業大学講義「社会とバイオテクノロジー」(各150名)
- 2015年1月5日 東京大学農学部課程講義「サイエンスコミュニケーション」(180名)
- 1月26日 日本サイエンスコミュニケーション協会 公開講座「リスク情報の伝え方」(15名)
- 2月19日 東松山市きらめき市民大学講座「遺伝子組換え作物・食品から遺伝子診断まで」(15名)
- 2月28日 筑波大学 形質転換植物デザイン研究拠点平成26年度成果報告会  
「誰でもできるGMO編バイオカードゲーム(BCG)の開発」20名



**事務局から 個人会員になって私たちと一緒に活動しませんか！(1口 2,000円)**



**編集後記**

2014年度後期も実り多き活動ができました。応援してくださった皆様にご心から御礼申し上げます。ことに、日本科学未来館で個人遺伝情報取扱協議会・東京大学医科学研究所公共政策分野と共催したシンポジウムで、様々なステークホルダーの方々と消費者直販型遺伝子検査について話し合ったこと、遺伝子組換えカイコの光るまゆ糸から取り出したタンパク質を使ったおやこバイオ実験教室を行ったことが印象的でした。新しい育種技術NBTの社会実装コンソーシアムに加わったことも、大変嬉しいことでした。これらの経験と機会を大切に、2015年度も活動して参ります。NPO法人 くらしとバイオプラザ21

<http://www.life-bio.or.jp>  
 編集 佐々義子・二瓶美郷  
 カット 中村典子  
 〒103-0025  
 東京都中央区日本橋茅場町3-5-3 鈴屋ビル8階  
 電話 : 03-5651-5810 FAX : 03-3669-7810  
 e-mail: bio@life-bio.or.jp

東京メトロ日比谷線 茅場町駅 2番出口 徒歩1分